

## 平成30年度 事業計画

### 1 基本方針

日本は超高齢化社会に突入しており、琴浦町においても平成30年2月1日現在の人口が17,760人で、そのうち65歳以上の占める割合は35.0%と昨年に比べ0.6ポイント上昇しています。このことから、労働力となる生産年齢人口は年々減少していると考えられます。

また、全国的な雇用状況を見ると、経済の好景気等を反映して慢性的な人手不足となっており、各企業等においては定年延長や再雇用制度等の導入により、労働者が引き続き同じ職場で働く体制が整いつつあるなど、社会の就業構造は大きく変化しています。こうした状況に加え、政府の「働き方改革」の一つに高齢者の就労促進が掲げられており、シルバー人材センター（以下「センター」という。）の役割は、今後ますます重要になってくると思われれます。

そうしたなか、当センターの現状をみると、会員数は160人台を維持しているものの、新規加入は少なく、会員の平均年齢は72.3歳（平成29年12月末現在）となっています。今後、センターへの多様な仕事の受注に対応するためには、安定的な新規会員の確保に努め、会員の就業率アップが重要となってきます。とくに、夏場に集中する草刈・除草作業、専門技術を要する剪定作業や障子・襖の張替作業などの会員確保は今後の重要な課題です。

また、活動の基礎となるのはセンターの安定的な財政・事業運営を図ることであり、町や国の行政支援は欠かせないものです。このため補助金の削減等が運営に大きく影響することから、引き続き町行政への要望を実施していきます。

さらに、町や鳥取県シルバー人材センター連合会（以下「県シ連」という。）とも連携・協働しながら、新たな分野の就業開拓を図り「社会の支え手」となるセンターをめざします。

そして、この実現に向けて「自主・自立・共働・共助」の共通理念のもと、常に安全・適正就業に配慮しつつ、健康を第一に考えながら無理のない働き方を実践し、地域社会に貢献していきます。

そのために次のことを基本の柱とし事業を進めます。

- (1) 安全・適正就業の推進
- (2) 就業機会開拓及び多様な働き方の推進
- (3) 運営体制・財政基盤の充実
- (4) 技能会員等の拡大と技能向上の推進
- (5) 情報提供及び普及啓発活動の推進
- (6) 地域社会貢献の取り組み
- (7) 会員の拡充

## 2 事業実施計画

### (1) 安全・適正就業の推進

会員の安全・適正就業、健康維持はセンター事業の最重要課題です。

就業機会の多種・多様化、会員の高齢化に伴い、全国的にも傷害・物損事故が増加傾向にあり、重篤となるケースも少なくありません。

就業中の安全意識を高くもち、ヒヤリ・ハット等も検証しながら、会員自身の安全確保はもちろんのこと、発注者からの信用度を下げることなく、事故防止対策に努めます。

ア 事業部会、安全・適正就業委員会を中心に、安全就業パトロール・安全就業講習会等を実施、さらには県シ連が主催する各種研修会に参加し安全就業に努めます。

イ 職群班の班長は、常に「安全就業の心得」を念頭に置き、就業時の服装、道具、作業の仕方、水分補給、休憩等に気を配りながら、安全就業に努めます。

ウ 新規受注については、安全就業を第一に考え、事前に現地確認等を十分に行い、危険を伴う業務内容については無理をせず、受けないこととします。

また、派遣労働に該当するものであれば、労働形態、就業条件をきちんと協議します。

エ 就業場所との往復移動に係る交通事故防止策として、時間に余裕をもった行動を心がけ、「シルバー人材センターにおける安全な運転のために」（平成30年2月策定予定）に沿った安全運転の実施。また、運転者にあっては任意保険の加入を徹底します。

オ 体調不良や病気等により、就業継続が困難となった場合は、健康第一を考えて無理のない働き方に改め、事故の未然防止に努めます。

## **(2) 就業機会開拓及び多様な働き方の推進**

就業機会を確保するためには、新規就業の開拓や創出が求められます。「共働・共助」の理念のもとに、会員自らも就業機会の拡大に努めるとともに、高齢者にふさわしい臨時的・短期的な就業、また軽易な業務内容に留意しながら、就業機会の確保を図ります。

- ア 役職員・地域班長・職群班長等を主力とした推進体制により、センターのPRと受注掘り起こしに努めます。
- イ 会員一人ひとりが会員としての自覚をもち、地域において会員の勧誘と地域ニーズの収集に努めます。
- ウ 就業機会開拓推進員を配置し、受注の拡大及びシルバー派遣事業、さらに有料職業紹介事業等の取り組みを展開しながら、適正就業に向けた就業機会の拡大を図ります。
- エ 新規事業や独自事業等、新たな活動の検討を行います。

## **(3) 運営体制・財政基盤の充実**

公益社団法人として、さらに公益性を重視したシルバー事業の展開を図ります。

- ア 地域社会や発注者のニーズ把握に努め、会員の声を反映したセンターづくりのため、理事会・専門部会等の活動の活性化を図り、時代の変化に対応した柔軟で効率的な事業運営に努めます。
- イ 補助金の削減が危惧されるなか、センターに対する補助金の必要性を理解してもらうとともに、常に費用対効果の検証を行いながら自主財源の一層の確保を図るなど、健全な財政運営に努めます。

## **(4) 技能会員等の拡大と技能向上の推進**

長年培ってきた技能や知識を継承する機会が少なくなっているなか、新たな会員確保を図るとともに、とくに県シ連が主催する安全講習や高齢者活用人材育成事業講習等への参加を推奨し、技能向上・習得に努めます。

## **(5) 情報提供及び普及啓発活動の推進**

シルバー事業について、地域社会に広く理解を得て利用を促すためにも普及啓発活動を展開します。

- ア 広報紙の発行、さらに町のイベント等の機会を捉えてチラシやポケットティッシュ等を配布し、仕事募集や会員募集に努めます。
- イ ホームページを活用して情報提供、情報開示を行います。

ウ TCCケーブルテレビをはじめ各報道機関へ情報提供を行い、会員活動のPRを行います。

エ 就業機会開拓推進員を中心に、企業等を訪問し、受託事業・派遣事業等の周知活動を展開します。

#### (6) 地域社会貢献の取り組み

地域社会の理解と協力を得るとともに、ボランティア活動をとおして地域社会に貢献します。

ア 互助会行事としてのグラウンドゴルフ開催とあわせて、公共施設等での清掃・除草等のボランティア活動を実施します。

イ 「交通安全見守り隊」活動として、毎月1回、小・中学校区ごとの通学路において、会員による交通安全見守りを継続実施します。

ウ 当センター事務所は「多世代交流施設」にあり、同施設には当センターのほか、放課後児童クラブ、子育て支援センター、子どもパークの4団体が入居し、文字通り多世代交流の輪が広がる施設です。今後も気軽に来館でき、会員と子どもたちとの交流の機会を創出します。

#### (7) 会員の拡充

技能経験を要する剪定や障子襖張り、草刈等は需要が多いものの、それに携わる会員は少なく、技能の継承が年々困難な状況にあり、技能修得者の確保や研修の機会が重要となります。また、会員の健康づくりやコミュニティの醸成を図るうえで、互助会や各種イベント等を企画していきます。

ア. 役職員、推進員に限らず、会員一人ひとりが新規会員の掘り起こしに努めます。特に需要の多い剪定や草刈等に従事できる人や今後益々需要が増えるであろう福祉分野、子育て支援、工場生産の一端を担う職場等を重点におきながら勧誘に力を入れます。

イ. 互助会活動として、会員のグラウンドゴルフ大会、三町（湯梨浜町・北栄町・琴浦町）のグラウンドゴルフ大会等、スポーツをとおして健康維持に心がけ交流の機会をもちます。

また、会員の親睦と交流を図るため、年1回の研修旅行を実施します。